

コロンビア経済情勢（10月）

【ポイント】

- 2020年の経済成長率を中央銀行は-8.5%、IMFは-8.2%と予想。
- コロンビアの貧困率が増加。
- 国会は、314兆ペソとなる2021年度一般会計予算を承認。
- 政府や地方自治体は経済の再活性化のために積極的なインフラ投資を実施。
- 予防的選択隔離措置を11月30日まで延長。

【本文】

1 主な出来事

<国内情勢>

(1) 経済成長率予想

ア 中央銀行は今年の経済成長率を-8.5%と予想（「ラ・リプブリカ」紙，23日）

中央銀行は、2020年の経済成長率-8.5%低下と予想した。これは、財務・公債省の-5.5%との予測より悲観的な数値となった。また、中央銀行は2021年の予測を4.1%の成長としており、これも、政府の6.6%との予測より悲観的となった。

イ IMFは、コロンビア経済成長率を-8.2%と予測（「エル・ヌエボ・シグロ」紙，14日）

IMFは、2020年のコロンビア経済に関し、GDPが8.2%減少し、ラテンアメリカでは8.1%減少するとの予測を発表した。また、2021年には、コロンビア経済は4.0%成長するとの見通しを示した。加えて、新型コロナウイルス流行の影響を最も受けた地域であるラテンアメリカ・カリブ地域の経済が、流行前の水準に戻るには、少なくとも3年必要だとする見解を示した。

ウ BBVA銀行は、コロンビア経済成長率を-7.5%と予測（「ラ・レプブリカ」紙，21日）

BBVA銀行は、2020年のコロンビアGDP成長率を-7.5%の減少、2021年は同5.5%の成長、2022年は同3.5%の成長と、それぞれ予測した。

(2) スタンダード&プアーズ社はコロンビアの格付けを維持（「エル・ティエンポ」紙，「ラ・リプブリカ」紙，29日）

スタンダード&プアーズ社はコロンビアの信用格付けを「BBB-」に維持し、見通しはネガティブであるとした。これは、経済動向により、18ヶ月以内に変更される可能性がある。同社は、2021年のコロンビアの経済成長率が5.5%となると予測している。

(3) 2019年、金銭的貧困及び最貧困が増加（「ポルタフォリオ」紙，「エル・ヌエボ・シグロ」紙，14日）

国家統計庁は、コロンビアの金銭的貧困率が2019年に35.7%に上昇した旨発表した。これは、前年の34.7%の上昇と比較し、1.0ポイントの上昇となった。また、これは、66万1,899人が金銭的貧困に陥ったことを意味する。また、最貧困率が2018年の8.2%から2019年の9.6%に増加した旨併せて発表した。これは、72万8,955人が最貧困に陥ったことを意味する。

(4) ボゴタ市政府は、新しい社会合意に1.6兆ペソを投資（「エル・ティエンポ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、16日）

ロペス・ボゴタ市長は、首都の経済的・社会的回復を目指す「ボゴタのための社会合意」と呼ばれる新たな計画を発表した。この計画では、3.4兆ペソ（約9億米ドル）が投じられ、このうち、ボゴタ市は1.6兆ペソ（約4億米ドル）、中央政府は、1.8兆ペソ（約5億米ドル）を拠出する。この計画では、国内の零細企業を支援するために1,170億ペソを割り当てる。ロペス市長は、また、企業や個人事業主のための融資を増やすことが必要である旨述べた。また、Bancoldex及びコロンビア保証基金（FNG）による融資が拡大する予定となっているが、対象に個人事業主が含まれるべきだとする見解を述べた。

(5) 政府は、更に140億米ドルの借入枠を模索（「ポルタフォリオ」紙、5日）

財務・公債相は、2020年から2023年までの間の借入枠を140億米ドル増やすための法案を国会に提出した。これには、本年6月30日時点の利用可能信用保証枠が26億9,400万米ドルであったことを受けて30億米ドルの信用保証枠が含まれる。この資金を用いて、財政収入が減少する地方自治体への財政支援、ボゴタメトロへの追加の資金提供、国内の各当局の災害対策能力の強化が行われる。

(6) 政府は全世帯の半数に支援（大統領府プレスリリース、9日）

ロドリゲス企画庁（DNP）長官は、コロンビアの全世帯のうち、少なくとも半数に政府からの財政支援が行われた旨述べた。新型コロナウイルス流行前に支援を受けたのは、全世帯の23%であったが、この数ヶ月で2倍以上に支援を行ったとした。

(7) 国会は、2021年度の一般会計予算を承認（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボ・シグロ」紙、20日）

上院及び下院の本会議で、19日夜、2021年度の一般会計予算を承認した。予算額は、2020年度予算と比較して、42兆ペソ（約110億米ドル）増加し、314兆ペソ（約821億米ドル）となった。この増額は、新型コロナウイルス対策に伴う債務による。この後、予算は、大統領の署名を経て、成立する。2021年度予算、314兆ペソのうち、184.9兆ペソ（約483億米ドル）は経常活動、70.5兆ペソ（約184億米ドル）は債務返済、58.5兆ペソ（約153億米ドル）は投資に用いられる。

(8) ボゴタメトロが着工（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、20日）

20日、政府、ボゴタ市政府及びメトロ第1路線社は、着工に関し、正式に署名した。着工式典には、政府、関係自治体の代表、駐コロンビア中国大使などが出席した。工事は、ボサ地区にある32ヘクタールの敷地での車両基地の建設から開始される。

(9) コロンビアは再生可能エネルギー分野で世界35位（鉱山・エネルギー省、9日）

世界エネルギー会議（WEC）の再生可能エネルギー分野の世界ランキングで、コロンビアは順位を2019年の49位から2020年の35位に14位上げ、ラテンアメリカ・カリブ地域では6位となった。コロンビアは、2年間で、再生可能エネルギーで発電するための設備容量を強化し、発電量を140メガワット増やした。2020年には、国内資本プロジェクト及び二国間プロジェクトが開始され、300メガワット以上増えることとなる。また、公平性に関しては、政府は、2年間で、全国で3万4,801世帯に送電している。ソーラーパネルを増設したことにより、1万世帯以上に再生可能エネルギーを利用している。

(10) オフショア炭化水素開発（「ポルタフォリオ」紙，9日）

鉱山・エネルギー省は、オフショア炭化水素開発を可能とするガイドラインを発行した。同ガイドラインは、掘削、開発、生産などに関するグッドプラクティス及び国際基準を適用し、技術・運用・プロセスの安全性及び環境的側面を考慮に入れたものとなっている。メサ鉱山・エネルギー相は、オフショア炭化水素開発は大きな可能性を秘めており、石油で8年、天然ガスで6.3年となっている埋蔵量を増やすことができる旨述べた。2019年以降、オフショア炭化水素開発のための調査に、16.9億米ドルの投資が行われた。

(11) ボゴタ市の緑の街道計画は2021年末に開始（「ラ・レプブリカ」紙，1日）

ロペス・ボゴタ市長は、7番道路（カレーラ・セプティマ）のトランスミレニオ道設置計画を廃止し、ここに緑の街道を設置する新しい計画を発表するイベントを開催した。2021年末に工事を開始する。ロペス市長は、この街道には、28の緑化区画が配置され、250Kmに及ぶ道路網の要となる旨述べた。市長は、本計画の実施に当たっては、2.1兆ペソ（約5億米ドル）の費用を要し、雇用を生み出すとしている。2021年3月に検討と設計を行い、同年末に工事を実施する予定で進行している。

(12) ドウケ政権は、経済再活性化のためインフラに投資（「ラ・レプブリカ」紙，15日）

ドウケ政権は、運輸省を通じ、インフラに関する国家インフラ庁（ANIF）のセミナーにおいて、経済の再活性化策の一環として、79件の優先的な工事を含む積極的なインフラ計画が実施され、62兆ペソ（約161億米ドル）の投資を行う旨発表した。オロスコ運輸相は、この計画に基づいて、投資の大部分は、ボゴタ市、ボヤカ県、トリマ県などの自治体を含む中部地域及び、太平洋地域に行われるとした。それぞれ、約35.6兆（約93億米ドル）、11.8兆ペソ（約31億米ドル）が投資される。

(13) 第3四半期に起業は2.9%増加（「エル・ヌエボ・シグロ」紙，20日）

2020年第3四半期に、起業数の増加率はプラスに戻り、8万4,724社となり、前年同期の8万2,371社比較し、2.9%の増加となった。2020年第1四半期には11%の減少となり、第2四半期には、47%の減少となった。

(14) ボゴタ市経済再活性化プロジェクト（「エル・ティエンポ」紙，8日）

ボゴタ市政府は、ロペス・ボゴタ市長が8月中旬に発表した、いわゆる「マーシャル・プラン」の一部として、経済再活性化プロジェクトを発表した。同プロジェクトに用いられる費用は53兆ペソ（約138億米ドル）に達し、このうち10.8兆ペソ（約28億米ドル）は債務で賄われることになる。同プロジェクトでは、260万戸の住居、商業用施設、産業用施設などの不動産税の減税、産業、商業分野での減税が行われる。他方、新型コロナウイルス流行の影響が少なかった経済部門に増税を行う。また、税制を簡略化することで、新規の企業に利益をもたらす。これにより、一部の市議会議員は、同プロジェクトが税制改革であると見做している。現在のところ、市政府は、市議会の経済委員会で一部の経済部門での減税及び他の経済部門での増税を検討しているが、機微な問題を含んでいることは明らかである。同プロジェクトは前進しているものの、いくつかの点で変更が加えられることは確実と見られている。

(15) 6月から8月までの非正規労働者が47.2%増加(「ポルタフォリオ」紙,「ラ・レプブリカ」紙,14日)

国家統計庁(DANE)は、6月から8月までの期間に、国内の非正規労働者が増加した旨を発表した。23主要都市とその都市圏では、前年同期の47%から47.2%に上昇した。また、13主要都市では、前年同期の45.4%から46.4%に上昇した。男性では、43.6%から46%に、女性では、46.8%から48.5%に上昇した。非正規雇用が最も高かった都市は、ククタ市の68.8%、シンセレホ市の63%、リオアチャ市の62.4%となった。最も低かった都市は、トゥンハ市の37.4%、マニサレス市の38.3%、ボゴタ市の39.4%となった。

(16) 金利の低下は、融資の拡大より加速(「ポルタフォリオ」紙他,5日)

本年、中央銀行は政策金利を2.5ポイント引き下げた。まだ、この影響を受けていないモダリティがいくつかあるものの、徐々に融資に際しての金利低下が拡大している。他方、貯蓄商品の金利は急速に低下している。180日から360日の定期預金金利、中央銀行が算出する各金融会社の定期預金の平均金利、90日間の定期預金一口あたりの預金額の加重平均金利は、コロンビアで新型コロナウイルスの患者が初めに確認された3月6日から10月2日までの間に、1.9ポイントから最大2.34ポイント下落した。

(17) コロンビアの対外債務は、市場最高額を更新(「ポルタフォリオ」紙,「ラ・レプブリカ」紙,9日)

7月、コロンビアの対外債務はGDP比53.6%となり、過去最高となった。これは、1,501億8,900万米ドルに相当する。中央銀行によると、これは6月のGDP52.3%、1,466億4,200万米ドルと比較して、約40億米ドル増加した。また、前年同月のGDP比41.9%、1,356億9,600万米ドルから、約150億米ドル増加したこととなる。

(18) 車両輸入の手続き簡易化(「エル・ヌエボ・シグロ」紙,28日)

シンプル・クイック戦略による事務処理合理化法の枠組みにおいて、環境ライセンス庁(ANLA)での手続きを合理化し、商工観光省のシステムとの相互運用を行うことによって、貿易共通システムを介した自動車及び二輪車の輸入承認が自動化された。これにより、登録の30%が自動化され、処理速度が16時間から5分に短縮される。

<対外経済関係>

(1) エコペトロール社の原油が韓国に到着(「ポルタフォリオ」紙,20日)

エコペトロール社は、韓国の民間石油精製業者に販売した100万バレルが韓国に到着した旨を発表した。韓国向けの石油販売はこれが初めてとなる。同原油は、2019年7月に販売されたもので、コペーニャ港から出荷され、韓国デサン港に到着した。エコペトロール社は、これは、原油の販売先の多角化の一環であるとした。12年前には同社の国際販売の90%が米国向けで、8%のみがアジア向けであったが、現在では、米国向け43%、アジア向け49%となっている。

(2) コロンビア産牛肉のチリ輸出解禁へ

コロンビアが口蹄疫のワクチン清浄国になったことを受けて、チリはコロンビア牧畜庁（ICA）から供与された文書を分析し、冷蔵及び冷凍の骨なし牛肉の輸入制限を解除することとした。さらに、セア農業・地方開発相はキュラソーとロシアへの輸出再開に向け協議中であるとした。

(3) コロンビアは中米のエネルギー市場を支配（「ポルタフォリオ」紙、8日）

電力事業を行うEPMグループ、インコネクション・エレクトリカ（ISA）、セルシア（Celsia）、エネルヒア・ボゴタ・グループ（GEB）は、過去10年に渡り、直接的又は間接的に中央アメリカで市場を拓いてきた。これらの企業は、パナマ、コスタリカ、ニカラグア、エルサルバドル、ホンジュラス、グアテマラ、メキシコで事業を統合するだけでなく、中米で所有する資産を強化し、確固たる存在感を示してきた。特に、4社のうち、ISAは中米のほとんどの国で存在感を示している。

(4) クリントン元米大統領、コロンビアへの投資を呼びかけ（「エル・ティエンポ」紙、11日）

クリントン元米大統領は、コロンビア投資サミットにおいて、外国人投資家に対し、コロンビアへの投資を呼びかけた。同元大統領は、コロンビアの人的資源や地理的優位性などのポテンシャルを活用するとともに、多くの雇用を創出し、環境やコミュニティを保護するよう求めた。また、対外投資がコロンビア経済を包括的に支援し、和平に資するとともに、新型コロナウイルスやベネズエラ避難民問題の影響を緩和することにも貢献するとした。特に、再生可能エネルギー、林業（政府は再植林プロジェクトにインセンティブを提供）、農業、及び科学技術・イノベーション分野への投資を促した。

<新型コロナウイルス関連>

(1) コロンビアのCOVAXでのワクチン割当が10%から20%に増加（大統領府プレスリリース、7日）

ドゥケ大統領は、6日、政府がCOVAXメカニズムにおける新型コロナウイルスワクチンの割当を10%から20%に増やすことに成功した旨発表した。

(2) J&J社の新型コロナウイルスワクチン試験の中止（「エル・ティエンポ」紙、13日）

J&J社のワクチン接種を受けた26人のうち、複数人が発熱、頭痛、倦怠感などの症状を示し、臨床実験が一時停止されることとなった。

(3) 予防的選択隔離措置を延長（「ポルタフォリオ」紙、29日）

ドゥケ大統領は、強制的な予防的選択隔離措置を11月30日まで延期する旨発表した。この措置は、11月1日から発効する。したがって、現状の防疫措置が維持され、特に密集を作り出さないようコントロールが行われる。

主な経済指標

経済活動指標	2019/08	2020/06	2020/07	2020/08
国内総生産(四半期)(DANE):%	3.4	-15.7	N/A	N/A
経済活動指数(DANE):%	3.1	-11.1	-9.6	N/A
経済活動指数第1次産業(DANE):%	1.7	-7.6	-6.4	N/A
経済活動指数第2次産業(DANE):%	-1.1	-12.6	-12.9	N/A
経済活動指数第3次産業(DANE):%	4.6	-11.2	-9.3	N/A
エネルギー需要(XM):GWh	6,257	5,568	5,930	5,990
エネルギー需要-前年同月比(XM):%	4.1	-5.4	-3.8	-3.8
雇用				
全国平均失業率(DANE):%	10.8	19.8	20.2	16.8
主要13都市失業率(DANE):%	11.4	24.9	24.7	19.6
消費				
消費者信頼感指数(FEDESARROLLO):%	-11.8	-33.1	-32.7	-25.4
実質小売売上高指数(DANE):%	9.5	-14.2	-12.4	N/A
自動車販売台数(単月)(ANDEMOS):台	23,305	11,981	14,481	13,226
自動車販売台数(年内累計)(ANDEMOS):台	162,419	72,395	86,876	100,102
物価				
消費者物価上昇率-前年同月比(DANE):%	0.09	-0.38	0.00	-0.01
消費者物価上昇率-前年比(DANE):%	3.19	2.19	1.97	1.88
生産者物価上昇率-前月比(DANE):%	0.19	1.76	1.52	1.55
ガソリン価格(ボゴタ)(鉱山省):ペソ/ガロン	9,734	8,286	8,286	8,286
生産				
実質工業生産指数(DANE):%	0.1	-9.9	-8.5	N/A
実質工業売上高指数(DANE):%	-0.1	-11.3	-8.7	N/A
新規建設着工承認面積(DANE):㎡	1,636,832	1,251,850	1,351,048	N/A
コーヒー生産量(FNC):千袋(60Kg)	1,119	1,362	1,310	1,091
コーヒー生産量-前年同月比:%	-11	12	-1	-3
コーヒー価格(IOC)/11月から"SUAVE":USD	129.89	149.24	151.29	167.63
石油生産量(日量)(鉱山省):バレル	882,864	729,905	734,987	742,091
石油生産量-前年同月比(鉱山省):%	1.9	-18.2	-15.4	-15.9
石油生産量(日量・年内平均)(鉱山省):バレル	888,234	812,953	801,815	794,350
石油価格WTI:USD/バレル	54.81	38.31	40.71	42.34
金融				
政策金利(中央銀行):%	4.25	2.75	2.50	2.25
為替 月初(中央銀行):COP	3,291.79	3,718.82	3,756.28	3,733.08
為替 月末(中央銀行):COP	3,427.29	3,758.91	3,739.49	3,760.38
為替 最高値(中央銀行):COP	3,477.53	3,760.22	3,756.28	3,867.32
為替 最安値(中央銀行):COP	3,291.79	3,565.06	3,611.61	3,733.08
株式指数 月初(中央銀行):COP	1,537.58	1,117.02	1,109.91	1,133.10
株式指数 月末(中央銀行):COP	1,559.52	1,111.80	1,134.34	1,216.03
株式指数 最高値(中央銀行):COP	1,559.52	1,228.24	1,181.78	1,230.56
株式指数 最安値(中央銀行):COP	1,503.00	1,110.65	1,109.91	1,128.41
貿易				
貿易収支(FOB)(DANE):百万米ドル	-1,419	-443	-902	N/A
輸出額(FOB)(DANE):百万米ドル	3,264	2,287	2,549	N/A
輸出額(FOB)-前年同月比(DANE):%	-11.4	-26.1	-21.7	N/A
輸出額(FOB)年内累計(DANE):百万米ドル	26,822	15,173	17,722	N/A
輸入額(CIF)(DANE):百万米ドル	4,913	2,899	3,646	N/A
輸入額(CIF)-前年同月比(DANE):%	7.3	-27.2	-20.1	N/A
輸入額(CIF)年内累計(DANE):百万米ドル	35,333	20,759	24,405	N/A
労働者送金(中央銀行):百万米ドル	644	510	593	646